



 食の安全を中心とした取り組み
CSR報告書 **2015**

編集方針

不二家は、2003年から毎年「環境報告書」を作成し、環境問題への取り組みや考え方をご報告してきました。そして、より多くの方に企業の社会的な活動を報告することが企業が果たすべきCSR（企業の社会的責任）であるという考えのもと、2008年から「CSR報告書」としてまとめています。

本報告書では不二家の食の安全を中心とした具体的な取り組みについてご報告しています。

報告対象範囲

本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

報告対象期間

2014年1月～2014年12月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

発行年月

2015年9月

Contents

編集方針 P 2	会社概要 P 4
企業理念 P 3	トップメッセージ P 5
お客様とともに			
安全のために P 6	お客様とともに P 9
地域・社会とともに			
地域・社会とともに P13		
株主・投資家の皆様とともに			
株主・投資家の皆様とともに P16		
従業員とともに			
従業員とともに P17		
環境活動			
環境方針／環境マネジメント P21	環境保全活動 P25
事業活動のマテリアルバランス P23		
経営マネジメント体制			
コーポレートガバナンスと内部統制 P28	リスクマネジメント P30
コンプライアンス・セキュリティ P29		
不二家のあゆみ P31		

社是

愛と誠心と感謝をこめて
お客様に愛される 不二家になります

経営理念

常により良い商品と最善のサービス
(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、
お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する



“不二家のミッション”

すべてを、「おかあさんの気持ち」で
『ベストクオリティ・ベストサービス』を提供します

行動規範

- 『お客様に安全な商品を提供し、安心と満足をお届けします。』
- 『法令・ルールを守り、社会の良識に沿って行動します。』
- 『社会との絆を大切にし、
地域社会の発展と環境の保全に努めます。』
- 『積極的なコミュニケーションを図り、
風通しの良い企業文化を作ります。』
- 『自ら考え、迅速に行動し、良い成果を出します。』

スマイル運動

5つのアクション

- S : Safety 安全
- M : Mission 使命
- I : Inspire 感動
- L : Learning 研鑽
- E : Effort 努力

不二家の「スマイル運動」

不二家は、経営トップが先頭に立ち「スマイル運動」を推進しています。

「スマイル運動」とは、社員一人ひとりが、お客様の“笑顔のためにできること”は何かを自ら考え、自ら行動するという運動です。

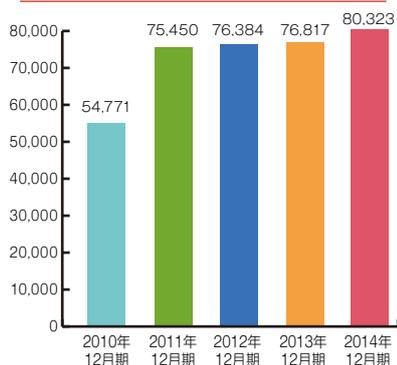
社員は、社是、経営理念、会社の歴史と創業精神を学び、常にお客様の安全(食品安全・労働安全)を意識し、行動を起こします。

ここでいうお客様とは、消費者の方ばかりでなく、社内の各職場にも存在します。製造現場では、自分の工程から見て次の工程を担当する人が、自分のお客様であると意識し、次の工程の人に喜んでもらえる仕事をします。これにより職場内でのコミュニケーションがスムーズになり、より良い製品を作ることができ、職場には笑顔が生まれるようになります。従来から取り組んでいる「AIBフードセーフティ」、「ISO9001品質マネジメントシステム」、「本物の5S活動」など不二家独自の生産方式や労働災害撲滅のための活動も、「スマイル運動」の一環と位置づけています。また、洋菓子店やレストランでは、サービスマニュアルを守ることはもちろんのこと、お客様が笑顔でお買い物やお食事を楽しんでいただけるよう最善のサービスを日々心がけています。

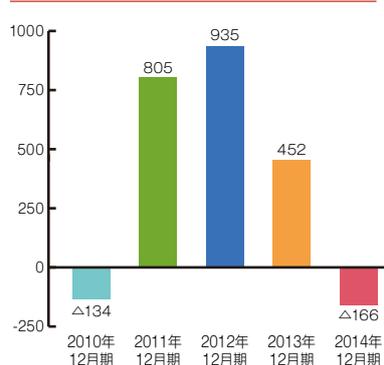
会社概要(2014年12月31日現在)

社名(商号)	株式会社不二家
本店所在地	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
代表者	取締役会長 山田憲典 取締役社長 櫻井康文
創業	1910年(明治43年)11月
設立年月日	1938年(昭和13年)6月
資本金	18,280百万円
従業員数	正社員1,074名
主要関係会社	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャパン株式会社、株式会社不二家東北、株式会社スイートガーデン、不二家サンヨー株式会社、不二家乳業株式会社、不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター、不二家テクノ株式会社、B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社、日本食材株式会社
営業部・支店	東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
店舗	銀座、横浜、名古屋、大阪、福岡、札幌など全国の主要地
工場	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)

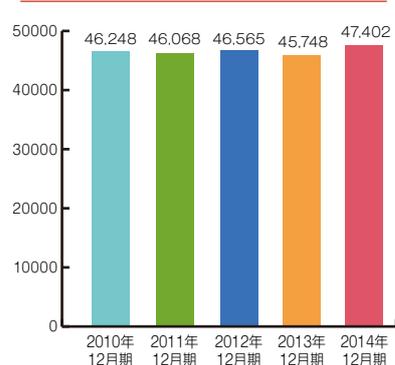
単体売上高(単位:百万円)



単体経常利益(単位:百万円)



単体総資産(単位:百万円)



事業内容

洋菓子事業

ケーキ、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営



菓子事業

チョコレート、キャンディ、クッキーなど菓子の製造販売



食品事業

飲料及び乳製品など食品の製造販売



※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。
不二家ウェブサイトURL <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

その他事業

業務内容：通販・キャラクター事業および不二家システムセンターの事務受託業務及び不動産の賃貸、管理など

「食の安全を中心とした取り組みについて」

不二家は、「常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様、ご家族に、おいしさ・楽しさ・満足を提供する」という経営理念のもと、事業活動を通じて社会に貢献し、社会と当社が持続的に発展していくことを目指しています。

そして、1910年の創業以来、100年を超える年月を、常にお客様とともに歩んでまいりました。企業としてお客様に対して果たすべき責任のうち、何よりも重要なことは、お客様が安心して召し上がっていただける、安全な商品を提供することです。不二家は、不良品撲滅を目指し「クレームゼロ運動」として、数々の取り組みをしております。不良品をゼロにするということは、たやすいことではありません。一見不可能なことにも思えます。しかし、ゼロを目指してこそ、徹底的、根本的な解決が得られると私たちは考えています。

また、不二家は地域・社会とともに歩んでまいりました。工場や店舗は、ペコちゃんを始めとした数々の交流を通じて、その地域で無くてはならない存在でありたいと考えています。

不二家にとって、そこで働く人材は、まさに会社の根幹です。労働災害の撲滅、働く環境の改善には、特に力を入れてきました。また着実に成果も上がっております。

そして、株主の皆様には、成果をもって還元することが企業としての務めであることは言うまでもありません。

ここに記されている内容は、不二家の社会に対して果たすべき事柄です。その取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。



代表取締役会長

山田 憲典



代表取締役社長

櫻井 康文

お客様とともに

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全な品質のうえに成り立っていると考えます。

商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召し上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。

安全のために

● 品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めクレームゼロを目指しています。

第一に、科学的根拠に立脚したAIBやISO9001といった食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。本年度は、食品安全衛生の重要性について全従業員の末端まで確実に浸透させるため、「従業員教育」の再徹底を実施します。

さらに、現場に即した「本物の5S活動」により、より安全で衛生的な環境作りを行っています。

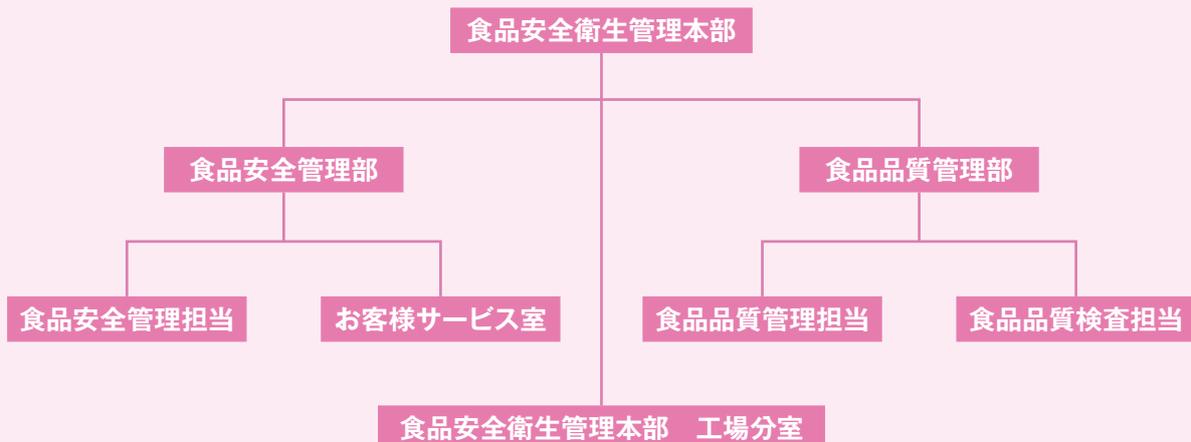
食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」と「食品品質管理部」の2部門体制のもと、組織強化を図っています。

また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の充実、人員の強化を行っています。



食品衛生教育の様子

食品安全衛生管理本部組織図

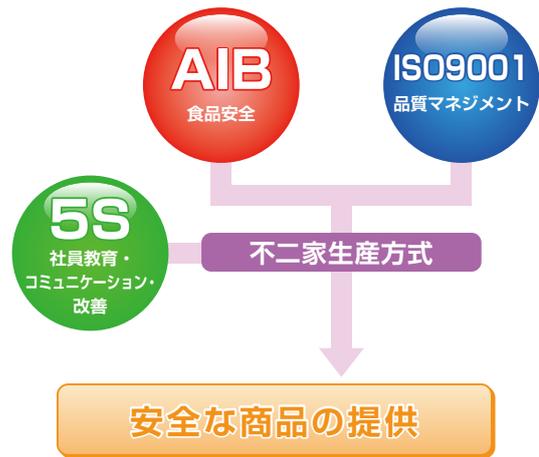


● クレームゼロを目指す取り組み不二家生産方式

不二家ではクレームゼロを目指すために、経営陣の強い意志のもと、次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB 国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②お客様満足の向上と製品・サービスの品質の維持・向上のための品質マネジメントシステムである「ISO9001:2008」の運用
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための、全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、1つの「不二家生産方式」として統合・機能すべく、日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、クレームゼロを目指し、食品安全の維持・向上に努めています。



● 不二家におけるAIB(American Institute of Baking)フードセーフティの取り組みについて

不二家では2007年2月より、洋菓子5工場、菓子3工場のすべての工場でAIBフードセーフティへの取り組みを始めました。AIBフードセーフティとは、米国にあるAIB(米国製パン研究所)が食品安全衛生に関する法律・規則を基に独自に設定した「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。「AIB国際検査統合基準」には、原材料の入荷から製品の出荷まで安全性を確保するために下記の5つのカテゴリーで構成されています。

① 作業方法と従業員規範

製品が従業員や生産工程によって汚染されることを防ぐ方法を示しています。

② 食品安全のためのメンテナンス

施設や設備が衛生上、および食品安全上の危害を招かないように、最適な設計や保全方法を示しています。

③ 清掃活動

製品の汚染を回避するための清掃に関するガイドラインを示しています。

④ 総合的有害生物管理

有害生物(鼠族、昆虫類)による食品の汚染を避けるための管理する方策を示しています。

⑤ 前提条件と食品安全プログラムの妥当性

前提条件プログラムを施設全体に一貫して実施していることを確実にするための基準を示しています。

各カテゴリーで詳細に守る事項が決められており、合わせると約100項目になります。AIBでは、外部専門機関による監査があり、点数で評価します。「AIB国際検査統合基準」の5つのカテゴリーが各200点の配点を持ち、総合評価として1000点満点で採点されます。

不二家ではこの外部専門機関でのAIB監査を実施し、全ての工場で合格点を獲得しました。導入後も「AIB国際検査統合基準」に則って、各工場では工場各部門の代表者で構成される自主検査チームを結成し、月1回、全ての製造設備に対して「AIB国際検査統合基準」に適合しているかの確認のため自主検査を実施し、不適合箇所を抽出し、必要な改善措置を



富士裾野工場でのAIB指導監査の様子

計画的に実施しています。改善措置については、月1回実施している「食品安全衛生委員会」で改善進捗確認を行い、常にシステムの維持向上に努めています。さらに、AIB活動のレベルアップのために、毎年、菓子製造工場の秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、洋菓子製造工場の埼玉工場、野木工場、泉佐野工場外部専門機関によるAIB指導監査を受けています。今年は3月～5月にかけてAIB本監査を受けています。また、AIBではフードディフェンス(食品への意図的な異物混入の防止)の考え方があり、各工場に監視カメラを設置するなど強化対策を進めています。

今後もお客様へ安全な商品をお届けするよう、AIBフードセーフティを継続的に取り組んでいきます。

● ISO9001:2008

不二家は、2005年よりISO9001^{*1}品質マネジメントシステムを導入し、2006年6月に外部審査機関による審査を受け認証を取得しました。現在も、お客様に向けて常に安全な商品、品質の良い商品とサービスをお届けするため、品質方針^{*2}・改善目標を掲げ、その遵守と達成に向けて、問題発見と改善活動を継続しています。

年2回実施される内部監査では、製造現場を中心に各部門から選抜された監査員が各現場に赴き、改善活動の進め方や作業手順などの確認を行っています。内部監査では、より大きな笑顔をお客様にお届けする観点から改善提案がなされ、職場の取組みに生かされています。さらに、これらの活動を学ぶ機会としてもとらえ、各職場のリーダー、若手社員、パートナー社員を含めた食に関わる全員の意識と技術の向上を図っています。

また、品質マネジメントシステムに関する活動の情報交換の場として、社長・各部門長出席のもとQMS会議^{*3}を毎月開催しています。QMS会議では、現場の取組みだけでなく、お客様からのご意見、ご要望も報告され、商品開発、製造現場の改善に生かされています。

今後も、食の安全・安心とお客様満足の向上のため、継続的な改善活動を行ってまいります。

※1 ISO9001適用範囲(2015年5月現在)

菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、施設部、購買部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場
[統括部、広域営業部、食品品質検査担当、安全衛生管理本部洋菓子工場分室は除く]

※2 品質方針

社長によって表明される不二家としての品質に関わる全般的な方向付け

不二家 品質方針(2007年3月7日付)は以下の5項目からなる

- (1) 当社はお客様に満足いただける環境に配慮した安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) その為に、各種関連の法律を守り、品質マネジメントシステムを通じて安心・安全な品質保証体制を整備し確立します。
- (3) 作業ルールの遵守はもとより、開発、製造各段階の流れと責任を明確にして、クレームの未然防止と再発防止に努めます。
- (4) 品質マネジメントシステムの有効性について継続的な改善を行います。
- (5) それらの実現の為に、風通しのよい企業風土作りに基づいて相互のコミュニケーションを密にし、組織体制の整備及び教育を実施してまいります。

品質方針の達成のため、各部門の品質目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

※3 QMS(Quality Management System)会議

品質管理責任者が、品質マネジメントシステムが有効に機能しているかをチェックするために、毎月1回及び必要に応じて開催する会議

外部審査風景



審査員を囲み、品質改善の取組みについて説明する製造課メンバー



金属検出機のテストピースの運用について説明する様子

内部監査風景



ポップキャンディラインの個装不良改善活動について熱心に語る様子



印字装置(賞味期限・ロットナンバー表示)の運用手順について、現場記録を用いて説明する担当者

お客様とともに

● お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは、お客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様窓口

● お客様からいただいた声

2014年1月から2014年12月の間に、お客様から約20,700件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、約14,800件がお問い合わせ・ご意見であり、約5,900件がご指摘事項でした。

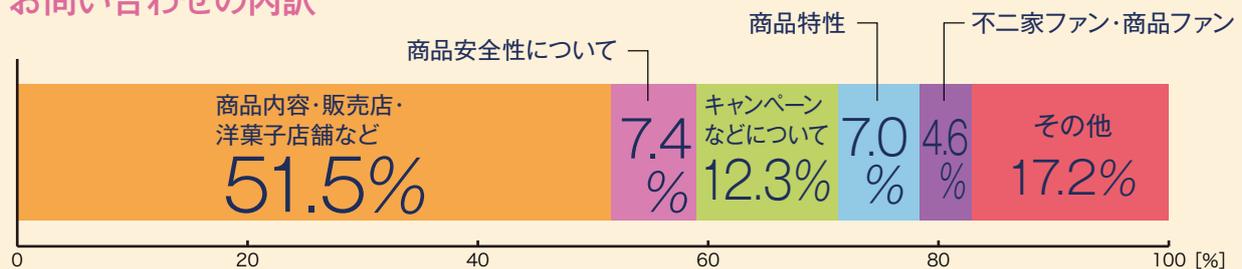
お問い合わせ・ご意見のうち、約51.5%が商品内容や販売店、洋菓子店舗の営業についてのお問い合わせであり、約7.4%が商品の安全性(アレルギーなど)に関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多い商品特性(成分、カロリー情報など)については、ウェブサイト内の商品情報ページにて公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。また、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を掲載しています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ウェブサイトでは専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力していきます。

お問い合わせの内訳



● 不二家ファミリー文化研究所

【不二家ファミリー文化研究所とは】

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家の「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という思いから2003年4月に誕生しました。

不二家ファミリー文化研究所の所長は、研究所の創始者であり、現在は社長である櫻井康文が兼務しています。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

食品を扱う私たちにとって、いうまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして創業以来、「ファミリーの不二家」という企業理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

【活動内容】

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動として、ウェブサイト「ペコちゃんの森」の運営や、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動への参加、「食育」や「自然」、「家族の絆」をテーマにしたイベントの企画、運営及び支援をしています。

【ウェブサイト「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」(<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げ、2009年4月にはより見やすいサイトへとリニューアルを行いました。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

● 親子イベントなどの公募

“食育” “自然” “家族の絆”などをテーマにしたイベントの紹介や参加募集の告知、全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」の訪問先募集の告知などを行っています。

● 「スマイル」をテーマにした川柳の募集

家族、友人、恋人への想いや、実際にあった「スマイル(笑顔)」にまつわるエピソードなどを、川柳で募集しています。

● 世界の文化についてのご紹介

日本にお住まいの外国人の方や、海外に滞在経験のある日本の方から、その国の食文化や生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについてインタビューをし、写真を交えてご紹介しています。

● アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

また、過去に連載していたマンガで読めるアンケートレポートも掲載しています。

このほかにも、パソコンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告、黒姫のペコちゃんの森の様子なども、随時ご紹介しています。



● 本物の5S活動

2009年に工場からスタートした「本物の5S」活動は、これまで、洋菓子直営店舗、本社部門と活動範囲を広げ、さらに2014年からは営業支店を巻き込み、全員参加の活動として推進してきました。工場では、「安全で、生きがい、やりがいの持てる職場づくり」に取り組み、洋菓子店舗では、「お客様に愛されるお店づくり」を目指して、働く人全員がチームに参加して活動を進めてきました。

2014年度の洋菓子工場では、職場や作業に隠れたムダを積極的に見つけ出して快善する取り組みを実施することで成果を生み出しています。菓子工場では、職場ごとに5Sチームを組織して、メンバー全員で職場にある困りごとを話し合い、協力して快善に取り組むことを活動の柱としています。2014年度は、作業者の安全、製品の安全と安心を主要なテーマとして掲げ、『労働災害』や『製品の品質不良』撲滅に向けた取り組みに注力しました。洋菓子直営店では、(整理・整頓・清掃・清潔・躰)といった基本的な取り組みを進める中で、お客様に何が出来るか、一人ひとり主体的に考え行動することで、お客様に気持ち良く来店していただける店舗作り、職場作りに取り組んでいます。

5S活動を通してよりお客様の笑顔のために何が出来るかを各部門、職場のチームで取り組んでまいります。



平塚工場活動進捗状況をチェックしている様子

VOICE

5S活動を行うことで、社員だけでなくパートナーの方々も日頃から問題発見・原因分析・快善の思考回路が出来上がっているように感じます。活動を継続するためには「5S活動のために」ではなく「自分たちの現場を自分たちでより良くするために」という意識が大切です。疑問や不満も大切な課題だと私は思います。そのためには終礼で毎日話し合い、事務局として1人残らず全員が意見を出し合える環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。



埼玉工場 生産課 宮永 奈津紀

今年の5S活動のテーマとして、「クレームゼロ」を掲げ、5号カールで問題となっている毛髪混入クレームに焦点を当て、職場全体で快善を行ないました。

従業員同士で協力し合い、お互いに声かけを行なうことで、一人ひとりが意識し、結果的に毛髪混入件数を減らすことができました。

今後も従業員が作業しやすい職場づくりとともに、お客様のスマイルのため、クレームゼロを継続できるよう努力していきます。



平塚工場 チョコレート製造1課5号カール 佐藤 千秋

RC店舗(直営店)の5S活動は、全国のRC店舗へ広がり推進店舗も増えて参りました。5S活動の一環で、東部エリアの店舗では「お客様の日々の声」をポストイットに書き、ノートに貼っております。お客様の声をスタッフ全員で共有し、「お客様のために何が出来るか？」を考える最高のコミュニケーションツールとしても役立っています。お客様への思いやり、ニーズにあった商品選びのお手伝いが出来るよう、「お客様に愛される不二家になるため」「地域1番店にするため」に、これからも日々活動を行ってまいります。



洋菓子店舗 洋菓子事業本部店舗運営統括部 関東RC東部エリア チーフスーパーバイザー 藤本 京子

● 「防災への取り組み」について

当社では、2012年6月に埼玉工場の製造ラインの一部を焼失しました。被害は軽微でしたが、この火災を機に防火・防災体制を見直し、本社と工場が一体なった「防災巡回点検」を毎月実施しています。火災につながるリスクを摘み取り、消火栓や消火器などの設備不備がないかを徹底して確認しています。さらに本社や各支店でも避難通路の確保や身の回りの整理整頓ができていないかを毎月巡回しチェックしています。



●「不二家食品安全の日」について

2007年1月、不二家は社会並びに消費者の方々に多大なご迷惑をおかけし、食に対する不安を与えてしまいました。

不二家は一連の問題を風化させず、「食の安全」に継続的に取り組んでいくため、1月11日を「不二家食品安全の日」と定め、毎年1月に本社及び各事業所にて、式典や集会を行っています。8回目を迎えた2015年の「不二家食品安全の日」の式典は1月9日(金)に不二家本社にて開催されました。

式典では、2007年に起きた「一連の問題」から8年を迎えた今回は、過去に不二家信頼回復対策会議の委員を務められ、現在は一般社団法人「FOOD COMMUNICATION COMPASS」にて活動されている森田満樹先生に、「食品事業者に求められる安全・品質のための取り組み～不二家と食品業界の七年間を振り返る～」について、ご講演いただきました。さらに、2015年から全社的に活動することになった「クレームゼロ運動」に向けて、各工場長から決意の発表がありました。最後に、会長の山田憲典より挨拶があり終了しました。

森田先生の講演内容

「不二家の過去の「一連の問題」の原因は、社会環境の変化への適応の遅れや危機管理対応の誤りなどです。

また、期限切れの原料を使用してしまった原因については、従業員の消費期限に対する意識の甘さなどです。

8年経過した今、判断が甘くなっていないか、同じことが起きていないか、常に気を付けていないと忘れてしまうものです。時代の変化に対応した教育を強化してください。

また、5S活動や品質管理体制など、目の前にあることがしっかりできているかを常に意識すること、一人ひとりの意識を高めていくことが大切です。

秦野工場長菅原の決意表明内容

原因を分析し、対策と、それによる効果を明確にすること。紙の上での対策ではなく、行動すること。クレームを減らすのではなく、ゼロにするために行動すること。この意識により前任の富士裾野工場でのクレームは減少しました。今後はポップキャンディのクレーム撲滅に努めたいと思います。

会長山田憲典の講話内容

「クレームゼロ」を目指しているのに、現状は問題が発生しすぎています。これをゼロにするためには、ひとつずつ解決していくほかありません。

「強い意識を持ち、徹底すること」、これは従業員の皆さんの力を借りなければ実現できません。そのために、日々の情報伝達、コミュニケーションがとても大切です。

VOICE

社員の感想

- ・ 8年前を思い返し、二度とくり返してはいけなと強く思いました。気をひきしめて仕事に取り組みたいと思います。
- ・ 8年前の問題は今の不二家において、改めて、見直し、反省、改善すべき点があると思います。問題を風化させず、これからの不二家に生かすことが我々の責任だと考えます。
- ・ 食品提供者としてお客様へ、安全な商品をお届けするという責任を再度認識するよい機会となった。クレームゼロを目指し、ルールの徹底、そして”生きたマニュアル”を意識し、日々の業務に取り組んでいきたい。
- ・ 改めて、食の安全への意識が高まりました。現在は、メディアが非常に影響が強く、消費者もすごく敏感であると感じました。5S活動に終わりはなく、基本を徹底することの大切さを学びました。



森田先生のご講演の様子



会長山田憲典の講話の様子

地域・社会とともに

● お客様とのコミュニケーション活動

【地域とのコミュニケーション活動】

不二家では、各事業所の周辺地域の皆様と、さまざまなコミュニケーション活動を実施しています。

2014年8月9日には、神奈川県の秦野工場にて、夏休み企業体験学習の一環として「オリジナルカントリーマアム作りに挑戦してカントリーマアムの工場を見学しよう」というイベントを開催しました。

当イベントは秦野市が、地域産業や仕事の大切さを学ぶことや子供同士の交流や親子の絆を深めることを目的に主催し、不二家が協力したものです。

親子12組(24名)の参加者たちは、カントリーマアムの生地を使い、自分だけのオリジナルカントリーマアム作りに挑戦しました。また、カントリーマアムの製造ラインの見学、ペコちゃんとの交流などを通し、食やコミュニケーションの大切さを学んだ充実した一日となりました。



作り方の説明を熱心に聞く参加者たち



真剣にオリジナルカントリーマアムを作っている様子



オリジナルカントリーマアムが完成



ペコちゃんと一緒に記念撮影

● 工場見学・職場訪問を通じて

2014年8月5日、「第4回神奈川県食の安全・安心基礎講座」が神奈川県の秦野工場にて行われました。当イベントは、神奈川県が、食の安全・安心に関する知識と理解を深めたいと考えている消費者の方に、食の安全・安心に関する基礎的な情報を提供することを目的に主催し、不二家が協力をしたものです。

お子様を含む24名の参加者は、不二家の食品安全衛生、県の食品衛生監視員の仕事、食中毒とその予防法の講義を聞いた後、カントリーマアムやキャンディなどの製造ラインの見学を行い、食の安全について学びました。



県の職員の方の講義を聞く参加者たち



工場内を見学している様子

【職場訪問の受け入れ】

不二家では、全国の中学校や高校からのご要望にお応えし、職場訪問の受け入れを実施しています。

2014年には、年間で50校の職場訪問を受け入れました。不二家の企業概要や歴史、キャラクター紹介、商品紹介、商品企画のプロセス、商品にまつわるエピソードなどを、スライドを使用しながらわかりやすく説明しています。

また、生徒さんからの質問に答えたり、新商品を試食してもらうなどのコミュニケーションを図っています。



生徒さんにスライドで説明する様子

【東日本大震災被災地への支援】

ペコちゃん被災地訪問

全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」が、2014年12月9日~10日に、岩手県山田町、大槌町の3ヶ所の保育園を訪問しました。

不二家キャラバン隊は東日本大震災以降、毎年12月に岩手県を訪問し、ペコちゃん子供たちと交流しています。子供たちは、ペコちゃんとダンスやクイズをしたり、不二家乳業株式会社協力の元、バター作りに挑戦したりと大盛り上がり! 被災地に笑顔のクリスマスプレゼントを届けました。



子供たちと触れ合い嬉しそうなペコちゃん

● イベント活動

不二家は、「食育」や「自然」をテーマにしたイベントの企画・実施や協賛などを行っています。
親子のふれあいの場や、お客様と一緒に楽しく学ぶ場を設けています。

【第4回ペコちゃんキッズアカデミー】

「ペコちゃんキッズアカデミー」は、食の大切さを学び、家族の絆を深めることを目的に、2011年よりスタートした、不二家ファミリー文化研究所主催のイベントです。

2014年4月3日、「いちごの里」(栃木県小山市)にて第4回を開催し、10組(26名)の親子が参加しました。



第4回ペコちゃんキッズアカデミーでのいちご狩りやショートケーキ作りの様子

【ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊】

「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」は、2010年に開始した、ペコちゃんがキャラバンカー「ペコちゃん号」に乗って全国の児童施設を訪問する企画です。

訪問先の施設では、ダンスやクイズなど、ペコちゃんと一緒に楽しみいただけるプログラムを実施しています。



「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」児童施設訪問の様子

【第8回銀座柳まつり】

「銀座柳まつり」は、銀座から日本全国へ笑顔を届けるさまざまなイベントで構成されるお祭りです。

2014年5月5日こどもの日に、第8回が開催され、ペコちゃんが人力車に乗ってパレードに参加したり、広場でお子様たちと触れ合いました。

銀座でもペコちゃんは大人気! 大勢の方々と楽しいひとときを過ごしました。



パレードに参加したペコちゃん

【元町ハロウィン】

「元町ハロウィン」は、横浜元町ショッピングストリートのお店のスタッフが、いろいろな仮装でお子様にお菓子を配る、手作り感あふれる地域イベントです。

ハロウィンを楽しみながらも、「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」をお子様たちに体験していただけるのが、このイベントの魅力の1つ。

不二家はそんな、お菓子とお子様を「ありがとう」の言葉でつなぐこのイベントの主旨に賛同し、2007年よりグッズやお菓子を提供するなどの協賛をしています。

また不二家にとって、横浜元町は、1910年(明治43年)に、初めて洋菓子店を開いた「発祥の地」です。そんな、横浜元町のイベントに、2014年もペコちゃんとポコちゃんがオリジナル衣装でハロウィンの仮装をして参加し、地域の方々との交流を深めました。



元町ハロウィン(2014年10月)

株主・投資家の皆様とともに

● IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

IR情報

●ウェブサイト

<http://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>
IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



●報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。不二家ウェブサイトにも報告書を掲載しています。



● 株主優待制度

年1回の権利確定日*現在の株主様に対し、3月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

*権利確定日…毎年12月31日の最終の株主名簿に記載のある株主様。

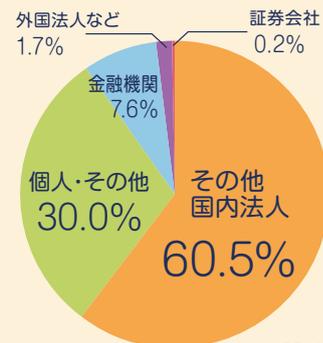


株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、不二家の洋菓子店・喫茶及び不二家レストランでご利用いただけます。

所有株式数	ご優待内容
1,000株から4,999株まで	株主ご優待券 500円券 ×6枚
5,000株から9,999株まで	株主ご優待券 500円券 ×8枚
10,000株以上	株主ご優待券 500円券 ×12枚

所有者別株式数



2014年12月31日現在

● 株主様アンケート実施

株主総会に出席された株主の皆様にはアンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいています。今後も、株主総会を株主様の声を直接お伺いすることができる大切な機会と捉え、より多くの株主様にご満足いただける運営を目指しています。

従業員とともに

● 人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは「やりがいのある仕事に携わり、夢を実現させるための仕組み作り」です。従業員自身が働く中で幸せを感じることで、この従業員の「幸せ」が、商品・サービスを通じてお客様に「幸せ」を提供することにも繋がると考えています。

人材の即戦力化が求められる中、不二家では新人教育を重視し、大学・大院卒社員に対して入社から5年間にOJTをはじめ、コース・職種・役割・資格別などに作成した教育プログラム、集合研修や自己啓発などのフォローアップ研修を行っています。この研修は、問題解決能力とコミュニケーション能力の養成に力点を置いた内容となっています。また、各年度の研修受講生から数名ずつ選抜した縦割りの研修として、フォローアップエクストラ(EX)研修も行っています。

高卒の新卒社員を対象とした研修など、さらにきめ細かくフォローすることで、人材の育成に努めています。

	入社1年目	入社2年目	入社3年目	入社4年目	入社5年目
店舗・工場・支店 入社・導入・教育	配属・OJT				
	フォローアップ研修 Ⅰ	フォローアップ研修 Ⅱ	フォローアップ研修 Ⅲ	フォローアップ研修 Ⅳ	フォローアップ研修 Ⅴ
	テーマ ● コミュニケーション	テーマ ● リーダーシップ	テーマ ● リーダーシップ	テーマ ● リーダーシップ	テーマ ● ネットワーク
	● 仕事の進め方 ● 自己啓発	● 仕事の進め方	● プレゼンテーション	● ロジカルシンキング	● 問題解決
	人事直営	人事直営	人事直営	人事直営	人事直営



フォローアップ研修の様子

担当者の声



総務人事本部 人事課
大垣 りよ

2014年は、社員136名がフォローアップ研修を受講しました。この研修は、年次とともに研修内容のレベルも上がり、会社での立場や役割に沿った講義を受けることができます。私自身入社3年目で受講者の立場ですが、毎年この研修を受けると、自分の業務の取り組み方やキャリアプランを見直すことができ、仕事のモチベーションが上がります。また、全国で働いている同期が集う場でもあり、お互い仕事の話など情報交換をする貴重な時間となっています。今年で3年目を向かえ、フォローアップ研修の卒業生は現在149名です。研修で得た知識を活かし、若手社員の更なるレベルアップを目指します。

● ジョブローテーション制

計画的な人材育成と組織の活性化を目指し、35歳以下の若手で、同一部署に5年以上在籍する社員を対象に、ジョブローテーションを実施しました。人事部が対象者をリストアップし、各事業部に協力を要請し、実現に向けて行動しています。

● 社内公募制度

個人のモチベーションアップや、組織の活性化などを目的とした人事制度「社内公募制度」を導入しています。

社員主体による配置転換の自由度を高めることによって、人材流動化促進、スキルや意欲のミスマッチ解消、適材適所を実現し、社員が最も力を発揮できる環境を整えるものです。

不二家における社内公募制は、「社内求人型」です。会社が必要とするポストや職種の要件をあらかじめ社内に公開し、応募してきた社員の中から必要な人材を選抜する仕組みです。

この制度の導入後、自身のキャリアアップを目指し、複数の社員が公募を通して新しいポストに就いています。

● 育児と介護を支援

育児や介護を行う従業員が仕事と家庭を両立できるよう、育児介護を支援する制度を設けています。不二家での2014年度育児休業者は32名(うちパートナー社員3名)、短時間勤務制度利用者は20名でした。また、時差勤務制度を導入しました。今後も制度利用を促進するために様々な施策を講じていきます。

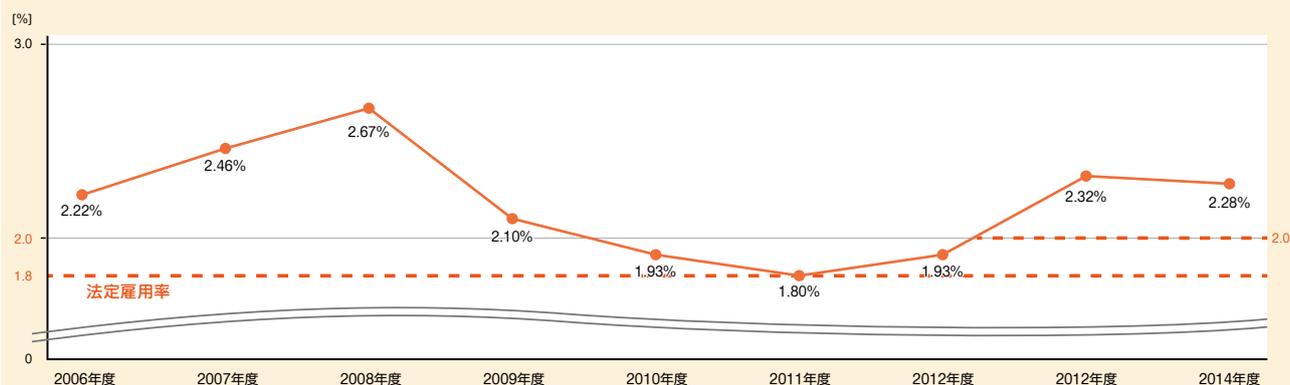
● 障がい者雇用

全国の工場を中心に本部事務職等も含め、障がい者雇用に取り組んでいます。

2004年以降、2012年までは法定雇用率1.8%に相当する障がい者雇用数を維持してきました。

2013年度報告分より法律が改正され、法定雇用率は2.0%となりましたが、2015年3月末現在の障がい者雇用者数は2.28%相当とその基準を維持しています。

障がい者雇用率表



● 高齢者雇用

社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、豊富な経験と技術を持っている社員の再雇用を行っています。

満60歳に達する社員のうち、再雇用を希望し、会社が提示する職務に合致するスキルを有する社員を対象として継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2015年3月15日現在、130名が再雇用者として在籍しています。

● 労使協力関係

管理職及び経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。

労使間では、健全な企業経営と企業の持続的な発展を目指し、「労使協議会」「経営協議会」を開催して、経営側と組合側とが諸問題について忌憚のない意見交換を行っています。

これにより、経営上の課題改善や、人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を行っています。

● 労働安全衛生

不二家はお客様に、安全な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、全従業員が安心して働くことの出来る職場環境作りが不可欠である、と考えています。

そのために、労働災害の防止や、心身の健康維持増進に向けた施策を実施しています。

全社的な労働安全方針の策定や安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と全国の工場、営業所・支店、また直営店舗(エリア毎)の「労働安全衛生委員会」を組織して、現場での問題解決や緊急連絡網の整備、また災害時において迅速な対応が出来るよう取り組んでいます。

労働安全に対して経営トップから強い意志が示され、労働組合も含めた中央労働安全衛生委員会メンバーを中心に年に1回全国

の工場を巡回し、設備の改善は元より、厚生施設のチェックも行うなど、本質安全化と快適な職場作りの確立を進めてきました。また、赤チン災害も含め災害の程度に関わりなく、全国の事業所より情報を収集・分析しています。各事業所で労働災害の対策を立て、場合によっては他事業所への水平展開も行った結果、労働災害(※)の発生件数は2010年度39件、2011年度20件、2012年度12件、2013年度7件、2014年2件と年々減少してきました。※不二家の社内基準による、休業、不休業も含めた労働災害

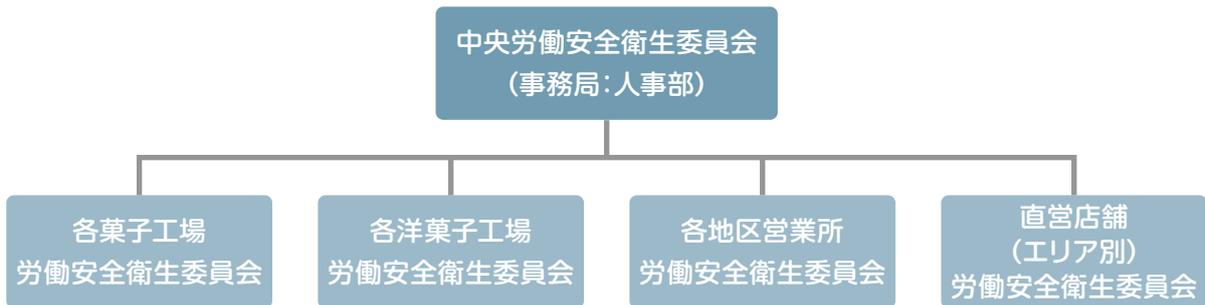
車両事故災害ゼロを目標にこれまで事業本部単位で行っていた事故報告を、全社で統一しました。車両事故を3段階にレベル分けして連絡体制を整理しました。また、従来の労働安全衛生委員会に加えて、さらに細分化した事業所単位で安全委員会を開催して注意喚起をはかるよう、車両事故撲滅に向けた取り組みを進めています。

● 不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、
社員の安全と健康の確保を第一とし、
働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートナー社員など臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。

2014年 不二家労働安全衛生スローガン
「安全第一「愛」」で防ごう労働災害



労働災害防止のための工場巡回時に撮影

担当者の声



平塚工場 総務人事課
天童 正浩

製造工場では、お客様に安全で安心な製品をお届けするために、まずは従業員が安全に安心して働ける職場環境が必要と考えています。

「設備的な改善」は常時取り組んでいます。平塚工場では特に従業員の「安全に対する意識」を高める取り組みを強化しています。毎月の安全テーマを設定し、安全巡回時の声かけ運動、出勤時の安全ビラ配布等の取り組みを行い、全従業員が高い意識で安全に働き、ひいてはお客様へ良い製品をお届けできるように今後も進めてまいります。

● 社内情報の共有

不二家は、部内横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!!(ウィークリースウィート!!)」は、社内イントラネットに掲載し、社内情報の発信を行っています。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週お届けしています。

新商品情報や新店舗開発情報、工場やエリアごとの取り組みなど不二家グループ内のさまざまな情報を紹介し続けています。



「Sweeeet!!」



「WEEKLY Sweeeet !!」

年3回発行している冊子の社内報「Sweeeet!!(スウィート!!)」は、「今の不二家をみる! 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営者からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報などバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



「Sweeeet!!」を読みながら談笑する従業員たち

担当者の声



総務人事本部 総務部
鍋田 佳人

「Sweeeet!!」23号より、社内報チームに加わりました。「Sweeeet!!」は、さまざまな部署より選抜された若手メンバーでページ内容の企画、取材、編集を行っています。私の担当は、一番の人気ページの「すうい〜と〜く」という全国の従業員にわいわい楽しくトークしてもらおうページです。社内報を職場のコミュニケーションツールとして活用し、また見て楽しい誌面作りができるように注力しています。

今後も、「読みたくなる」ページになるよう社内報作成に取り組んでいきたいです。

環境活動

省資源、省エネルギー、CO₂削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供しようと考えています。

ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。

環境方針

【環境方針について】

不二家は「環境基本理念」「環境基本方針」に基づいて、従業員一人ひとりが不二家の果たすべき責任と役割を認識し、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指してまいります。また、積極的に地球環境、生態系への負荷を低減し、生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた取り組みを継続的に推進してまいります。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健全と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

1. 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
2. 環境関連の法律、規制、協定などの尊厳はもとより社会要請に応えうる環境管理体制の整備と充実を図ります。
3. 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
4. 地球における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
5. 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的に行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

環境マネジメント

【環境マネジメント体制】

不二家では、環境方針を軸にISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用し、環境マネジメント体制の強化と、迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、ISO14001認証取得工場以外でも「環境管理委員会」を設置し、省エネルギーや廃棄物削減等の目的・目標の達成のための取り組みとパフォーマンス達成状況や環境関連法規を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の技術や環境情報を共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的を開催し、目標や課題への具体的な解決策を検討し改善への行動に結び付ける環境マネジメントを推進しています。



● 環境報告対象範囲

環境データにつきましては、ISO14001の規格に基づいて活動している製造5工場（秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場）のデータを収集・記載しています。

製造5工場のISO14001認証取得年月と環境負荷データ集計対象範囲

	ISO14001 認証取得年月	環境負荷データ集計対象工場												
		2003年 (4月~3月)	2004年 (4月~3月)	2005年 (4月~3月)	2006年 (4月~3月)	2007年 (4月~3月)	2008年 (4月~3月)	2009年 (4月~3月)	2010年 (4月~3月)	2011年 (1月~12月)	2012年 (1月~12月)	2013年 (1月~12月)	2014年 (1月~12月)	
菓子	秦野工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平塚工場	2002年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	富士裾野工場	2001年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
洋菓子	野木工場	2003年4月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	埼玉工場	2004年10月	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

● 内部環境監査・研修

ISO14001認証取得工場ではISO14001:2004規格の規定に基づき、不二家の内部環境監査員資格をもった監査員が、各工場毎に相互に連携して内部環境監査を行い、環境マネジメントシステムが適切に実施、維持されていることを確認しています。

内部環境監査の結果は経営層に報告し、環境マネジメントレビューの際の重要な資料となります。また、既に内部環境監査員の資格を持った人達への研修(ブラッシュアップ教育)を2014年10月にテレビ会議にて実施し、4事業所の38名がISO14001の規格要求事項、環境関連法規や内部環境監査の監査基準などについて受講しました。



内部環境監査の様子(富士裾野工場)



内部環境監査員研修(テレビ会議)

VOICE

今回ブラッシュアップ教育を受講し、内部環境監査員としての意識をさらに深めることが出来ました。ISO14001の基本的な知識の再確認から規格要求事項や環境関連法規制等の踏み込んだ内容もわかりやすく理解することが出来ました。これから内部監査員としてこれらの知識を活かし、環境負荷の低減に向けた監査指導をしていくとともに、自らの現場でも環境教育を実施し、お客様と環境にやさしい製品作りを進めて参ります。

平塚工場 製造1課1係 班長 武石 卓也



● 環境教育・緊急事態訓練

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員一人ひとりの意識の向上、適切な知識が欠かせません。ISO14001認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育を実施して、環境保全に関する知識レベルの向上に努めています。また、緊急事態を想定した訓練・テストを定期的を実施して、環境への影響の予防及び負荷の低減に努めています。

ISO14001認証審査



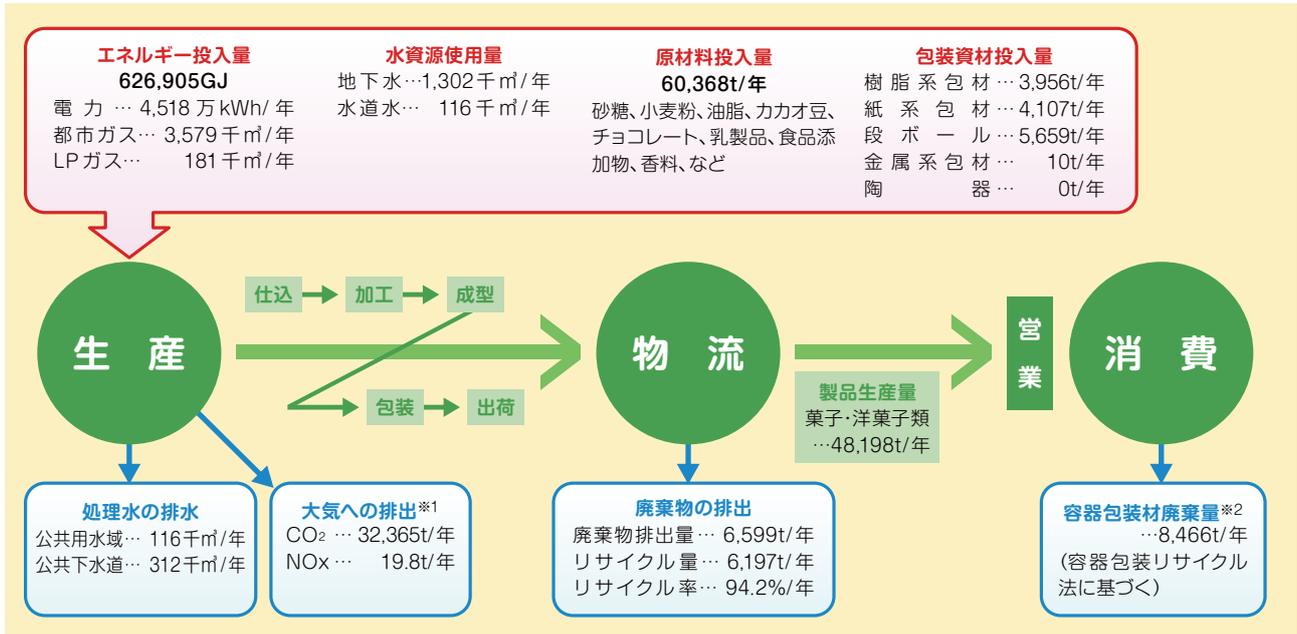
外部認証機関による審査の様子(秦野工場)



緊急事態訓練の様子(平塚工場)

事業活動のマテリアルバランス

2014年度製造5工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、野木工場、埼玉工場)のマテリアルバランス(2014年1月～2014年12月)



※1:投入されたエネルギーについてCO₂を算出しています。

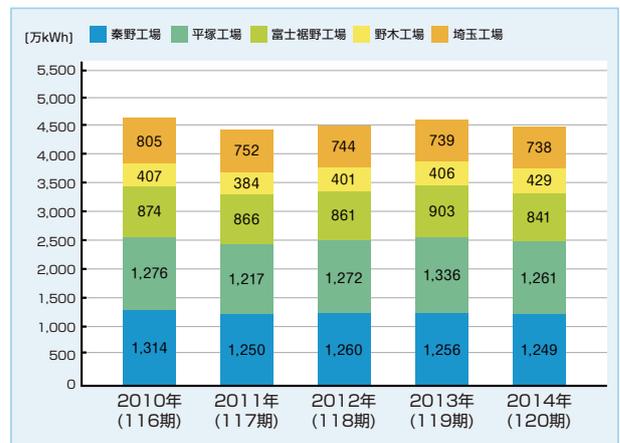
※2:容器包装材廃棄量は、不二家全体(食品を除く)の2012年度実績になります。

● 省資源・省エネルギーへの取り組み

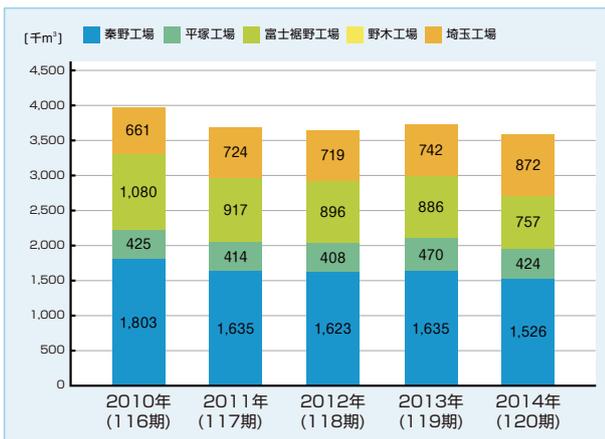
【エネルギー源使用量の推移】

不二家は各事業所・工場において、省エネルギー設備の導入・運転の合理化や空調設備の運転方式の改善など省エネルギー対策に努めています。今後も、設備の整理統合や新技術の導入検討などエネルギー使用量の削減に積極的に取り組んでいきます。

2014年度のエネルギー使用量として、LPガスの使用量は2013年度と比較して7.2%増加となっています。主な要因は、野木工場においてLPガスを使用する製造ラインを新たに増設、稼働したためです。また、電力使用量は2013年度比で2.6%、都市ガス使用量は4.1%の削減となりました。主な要因は前年と比較し生産量の減少にともなうエネルギーの減少によるものです。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPガス使用量推移

● 低炭素社会の実現

地球温暖化防止への取り組み

【CO₂排出量削減対策】

不二家の各工場では、CO₂の排出量削減対策として、冷凍・冷蔵機、空調機などの設備を環境負荷の低い設備へ順次、更新しています。

平塚工場では、2014年度に、チョコレート加工設備の冷却などに使用している冷凍設備を従来では2台で稼働していたものを、省エネルギータイプの1台に集約し、更新したことにより、年間89.4tのCO₂排出量削減を実現することができました。また、秦野工場においても空調用の冷凍設備を効率的な運転に変更することにより、年間27.2tのCO₂排出量削減を実現しました。尚、製造5工場におけるCO₂排出量は、2013年度と比較して4.8%増加しましたが、各工場で施策を行ったことにより、環境負荷効率(生産量/CO₂)は改善されました。



更新した冷凍設備(平塚工場)



運転変更した冷凍設備(秦野工場)

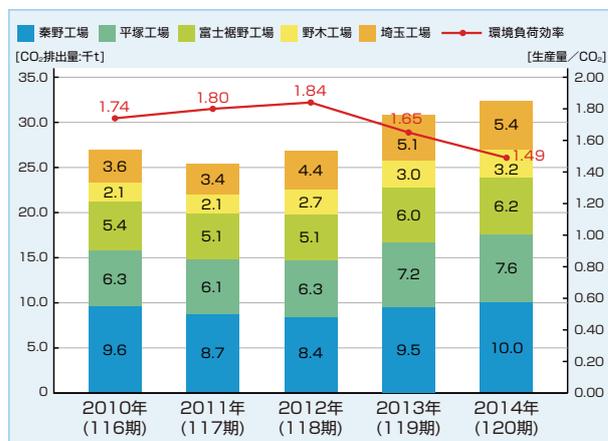
【節電対策】

不二家の各工場では、蛍光灯などの照明を省エネルギータイプのLEDへ交換を進め、電力削減を図る取り組みを行っています。

また、本社における夏季の節電対策については、従来から行っている「クールビズ」の取り組みの徹底や、2009年から継続して実施している19時のフロア一斉消灯を行っています。さらに、毎週水曜日には「ノー残業デー」を実施し、各人が「仕事の内容」を見直すとともに、「ワークライフバランス」(人生を充実させる働き方・生き方であり、社員の仕事と生活の調和)の推進に努めています。



更新したLED照明(秦野工場)



工場におけるCO₂排出量と環境負荷効率の推移

環境保全活動

● 循環型社会の実現

環境に配慮した商品設計

【包装材料の削減・軽量化】

製品の容器や包装については、製品をおいしく安全にお客様にお届けする品質保持の役割と、省資源や廃棄時の環境負荷低減という環境配慮の両面から取り組みを進めています。カントリーマアムのバニラ、ココアの個包装のサイズを見直し、寸法を1mm短くすることで、年間5トンのプラスチックを削減することができました。



年間5トンのプラスチックの削減

【エコプロダクツ2014に出展】

2014年12月に東京ビッグサイトにて開催された国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2014」(主催:社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社)に、引き続き山崎製パン株式会社のグループ企業として出展し、地域特産物を利用した商品の紹介や容器包装軽量化の取り組みやを、来場者の方々にご紹介しました。



取り組みの説明をする様子



地域特産物を利用した商品・容器包装軽量化の展示

● リサイクルの取り組み

【食品廃棄物リサイクルの取り組み】

工場では廃棄物の発生抑制に努めるとともに、製造過程から排出される食品廃棄物を、飼料化などのさまざまな施策を実行することにより、食品廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでいます。今後も継続的に付加価値の高い再資源化に積極的に取り組み、限りある資源の有効的な循環利用を推進していきます。

不二家の2014年度の食品リサイクル率は88.4%^{※1}となりました。

これは店舗や工場より排出される動植物性残さ^{※2}などの食品廃棄物や、製品廃棄物も含めた全社でのリサイクル率であり、排出される食品廃棄物の製品特性に合わせた処理委託先を積極的に導入したことにより、前年度と比較して0.2ポイント向上しました。



食品リサイクル率推移

※1 食品リサイクル法に基づく、定期報告のリサイクル率です。

※2 動植物性残さ:食品製造業など特定の業種の製造工程から排出される固形状廃棄物で、原料として使用した動植物に関わる不要物。大部分は肥料・飼料として利用され、一部が焼却、埋め立て処分されます。

● 各事業所における環境保全活動

【社会貢献活動】

不二家の各事業所では、地域社会との交流を図りながら、積極的に環境保全活動に参加し、企業としての社会的責任を果たしています。

【富士裾野工場のアマゴの放流活動、滝の清掃活動、親子水生生物調査への参加】

富士裾野工場では、「狩野川水系水質保全協議会」が主催するアマゴの放流活動、五竜の滝清掃活動や裾野市の黄瀬川にて行われた親子水生生物調査に継続的に参加しています。

親子水生生物調査では川にいる生物を探すことや、水温、川の流れの速さを調査しています。



アマゴの放流(富士裾野工場)



五竜の滝清掃活動(富士裾野工場)

その他工場の 地域社会への取り組み

- 不法投棄撲滅活動
- 工場見学の受入
- ノーマイカーデー実施
- 泉佐野工場クリーン
グリーン活動



親子水生生物調査(富士裾野工場)

担当者の声

今年度は雨天のため保育園の子供たちは不参加でしたが、環境保全活動として積極的にアマゴの放流を行えました。昨年と比べ河川の様子に変化はなく、きれいな川として保たれていることが確認できました。今後も生物多様性の保全活動に積極的に取り組んで行きたいと思います。



富士裾野工場 総務人事課 雨ノ宮 彩

VOICE

今年度、初めて五竜の滝の河川清掃活動に参加しました。周辺企業と協力し多くのゴミを拾うことにより河川が美化されました。今後も環境保全活動に参加することによって地域の美化を保っていきたいと思います。

富士裾野工場 工務課 山田 直人



【平塚工場の相模川現地状況調査への参加】

平塚工場では、毎年恒例となっている「平塚地区環境対策協議会」主催の相模川現地状況調査(チューリップ球根の植栽及び河川敷周辺の美化活動)に参加しました。



相模川河川敷の植栽及び美化活動(平塚工場)

● トラスト活動

【黒姫「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付をしました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場（議長 倉本 聡氏、副議長 C.W. ニコル氏）」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や灌木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻し、2012年5月には、整備活動始まって以来初の植樹を実施しました。今後も定期的に不要な下草を伐採して地面に日光を導き、ブナやミズナラをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生ずるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化をしている「ペコちゃんの森」の様子を、ウェブサイト内にて定期的にご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っています。

【従業員による森林整備活動の実施】

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議/工場様のご協力のもと、従業員有志による「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2014年は、7月に「刈り払い作業（＝苗木の成長を妨げる雑草などを切り払う作業）」を実施しました。所長である社長の櫻井を含む不二家従業員有志参加者23名は、水分補給をしながら作業にあたりました。苗木が成長して森になるまでには、数十年を要します。私たちは変化していく森の様子を肌で直接感じ、森林整備の大切さ、健康な森作りについての知識を高めながら、今後も整備活動を続けていきます。



刈り払い作業の様子



整備後参加者たちで集合写真

「ペコちゃんの森」森林整備活動報告2014年7月
<http://www.fujiya-peko.co.jp/mori/forest/clean/>

VOICE

今回、初めて参加させていただきました。

昔からキャンプなど自然と触れ合うのが好きで楽しみにしており、森では草刈の合間に巣で餌を待つ雛鳥や大きなカエル、毛虫などたくさんの自然に癒されました。

葉がついておらず元気の無いものや、雑草に絡まってあまり成長していない木などありましたが、みんな生きており、その生命力に元気をもらいました。

また参加して大きなブナの木に成長していく姿を見守りたいと思いました。

菓子事業本部 営業本部 神奈川支店 中山 希



コンプライアンス・セキュリティ

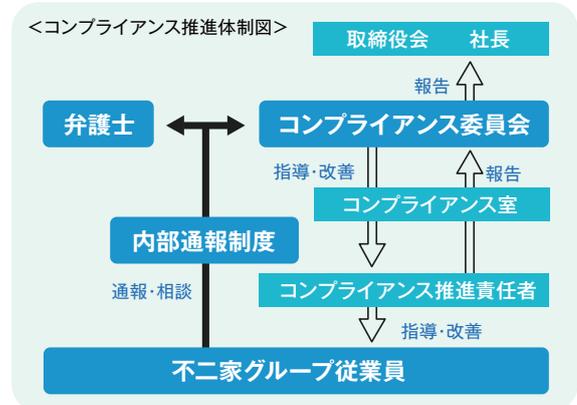
不二家はコンプライアンスを経営の基礎であり、かつ重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどまらず、社内規程・ルールを守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

● コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を継続的に実施しています。

また、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



● 内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン) 制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報(コンプライアンス・ヘルプライン)制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令・社内規定・ルール等に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員にコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、コンプライアンスの浸透にも努めています。

● 2014年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙を、企業価値向上のために欠くべからざる最重要課題と位置づけ、コンプライアンス教育に継続的に取り組んでいます。

2014年度の教育は、従業員のコンプライアンス意識の維持・向上と食品安全衛生の最新情報の共有によるレベルアップを目的に、5月から12月にかけて合計86回行いました。

教育の中では、不二家の創業精神が、新しいことに果敢にチャレンジする精神や、単なる食料を作って売っているのではなく、お客様に心の豊かさや笑顔が生まれる時間を提供しているということを説明しました。また、会社としてリスクが高い項目の一つであるソーシャルメディアの利用について、注意喚起をしています。さらに、直近の食品安全に関わる社内外の様々な事例を紹介し、従業員が取り組むべき食品安全について、情報共有を図り、従業員一人ひとりの意識向上を図っています。

また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めています。

● 情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。

リスクマネジメント

● リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB(American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害(環境) リスク」などに対して、事前にリスクを識別・分類・分析・評価、及び、対応を適切に行うための「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点14ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しました。

● 株式会社不二家フードサービス古河東本町店で製造販売した「ショートケーキS」にカビが発生した問題について

弊社子会社である不二家フードサービス古河東本町店で昨年12月13日に製造販売された「ショートケーキS」のスポンジ生地の一部に、「カビが生えている」とお客様よりお申し出があり、同様の内容がtwitterにも発信されました。現物を引き取り・確認したところ、一部スポンジ生地に変色したものがあり、第三者機関へ調査を依頼しました。また、管轄保健所へ届け出を行い、当日製造販売された「ショートケーキS」をお買い上げのお客様については、お申し出をいただくよう当該店舗にて店頭告知を行いました。

その後、保健所の立入検査をうけ、原因究明と再発防止策が講じられるまでの間、当該店舗での洋菓子製造を中止するとともに、社外の弁護士を含めた調査委員による当該店舗の全従業員からの事情聴取、全記録の精査等の調査を行いました。

第三者機関の調査の結果、変色は「カビ」であると判明、事情聴取、記録の精査等より、発生の原因は、当該店舗でのスポンジ生地の在庫管理が適切でなかったことによるとの結論にいたりしました。

お客様をはじめ関係各位に多大なご迷惑をおかけしたことを真摯に受け止め、当該店舗での洋菓子製造を廃止することとしました。また他店舗ではこうした事態は発生しておりませんが、レストラン全店において在庫管理、温度管理、検品等を再度徹底し、カビ発生や異物混入の防止に最大限の注意を払ってまいります。また、各地区の地区部長による店舗の定期巡回の頻度を増やし、適正な記録類の記入・保管等の確認、指導するとともに、株式会社不二家及び外部機関による監査*を実施いたします。あわせて、twitter等のソーシャルネットワークサービスにおける情報の収集に努め、迅速な対応をいたします。

以上の経過につきましては、当該店舗で告知を行うとともに、ホームページにて情報発信を行いました。

※日本パン技術研究所による「AIB国際検査統合基準」に則った検査

お客様各位	2014年12月15日 株式会社不二家フードサービス 株式会社不二家
不二家レストラン古河東本町店で製造・販売した「ショートケーキS」についてのお知らせ	
平素は、弊社商品に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。 2014年12月13日に、株式会社不二家フードサービスが運営する不二家レストラン古河東本町店で製造・販売した「ショートケーキS」(ホールケーキ)6個につきまして、一部スポンジ生地に変色したものがあり、現在第三者機関で調査中です。これについて、インターネット上で取り上げられており、お客様にはご迷惑とご心配をお掛けしていますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。	
この件のお問い合わせ先 株式会社不二家お客様サービス室 電話番号 0120-047228 受付時間 9時~18時	

不二家ウェブサイトにおける告知文

不二家のあゆみ

創業の精神

横浜開港後の山下町に外国人居留地が、山手に山手居留地がそれぞれ設けられ、両地区を結ぶ場所にあった元町通りには、当時は日本には珍しい喫茶店やベーカリー、洋服店、洋風家具店などが軒を連ね、文明開化を支えました。

そんな新しい文化を、いち早く吸収してきた街、横浜元町で創業したのが不二家です。当時ではとてもモダンなローマ字「FUJIIYA」の看板を掲げ、1910年に創業した不二家は、「進取の気鋭」で栄えてきました。

不二家の作った菓子は、居留者の外国人にとっては『懐かしい母国の味』、横浜に住むマダムにとっては『珍しくて新しい文明開化の味』でした。不二家の商品や喫茶を楽しむ時間は、彼女たちの至福の時間でした。

不二家は、ただ単に食料を売っていたのではなく、海外の菓子や喫茶を通して、「心の豊かさ、笑顔の生まれる時間」を提供していたのです。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売を始める
1922年	ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルキー発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
	 <p>ミルキーがヒット 1951年、水飴と練乳、この二つの製菓材料を使用し、洋菓子製造で得た乳の知識を生かしてようやく完成させた新しい味が「ミルキー」でした。練乳を50%近く使い、思い切ってまろやかな味を出した、全く新しいおいしさ、豊富な栄養、廉価という3拍子が揃った当時としては信じられないほど賞沢で新しいお菓子でした。この商品は「ミルキー」と名づけられ、洋菓子店で販売するや否や、たちまち話題になりました。当時から、洋菓子店店頭飾られ人気を得ていた「ペコちゃん」をパッケージに使ったことも功を奏し、大ヒット商品となりました。創業者の藤井林右衛門は、多くの子供たちに、おいしくて栄養のある菓子を届けたいという想いから設備を整え、1952年から一般流通への卸売(全国発売)を始めました。「ミルキー」は洋菓子屋として創業した不二家が、卸売事業に参入するきっかけになった商品でした。</p>
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコレート発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売・ホームパイ発売 秦野工場(神奈川県秦野市)・埼玉工場(埼玉県新座市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡野木町)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリー マッキントッシュ社と技術援助契約を締結(現在は契約解消)

不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1973年		キットカット発売 ピーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、アイスクリームチェーンに着手
1976年		米国ペプシコ社と合併会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は契約解消)
1978年		株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年		米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコレート発売
1982年	3	仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店
	11	フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現在は契約解消)
	10	株式会社ダロワイヨジャポン設立
1990年	6	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成
	-	アンパンマン商品発売
1992年	-	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6	「ペコちゃんのほっぺ」発売
	11	九州工場(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ウェブサイト開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2	「環境宣言」の制定 /ISO14001 認証取得の取り組み開始
	5	容器包装リサイクル法に対処
	9	ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却
	11	埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換
	12	富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3	カフェテリアプラン制度導入
	4	富士裾野工場 ISO14001 認証取得
	8	埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得
	10	埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止
	11	「不二家 行動規範と行動指針」の制定
	12	野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化
	4	野木工場 ISO14001 認証取得
	4	不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という)
	6	大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止
	7	コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス推進規程制定
	7	環境報告書を初めて発行
	8	ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始
	10	埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始
2004年	2	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立
	6	秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足
	10	埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7	個人情報保護基本規程制定
	7	ISO9001 認証取得の取り組み開始
	12	秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	1	「品質方針」の制定
	3	泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止
	3	ファミ文研 「めざせ!食育マイスター」イベント協賛開始
	4	定年退職者再雇用制度開始
	6	ISO9001 認証取得 (菓子事業本部(営業部、マーケティングG、SCMG、事業管理G、研究開発G、湘南工場)、品質保証部、調達部)
	10	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼働開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
2007年	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB フードセーフティの取組開始
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	4	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
	5	ISO9001 認証一時保留/ISO9001 認証一時停止
6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置/内部統制システム構築着手	
7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施	
7	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止	
7	埼玉工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	泉佐野工場 ISO14001:2004 一時停止解除(認証再開)	
9	ISO9001 認証一時停止解除	
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部) [広域営業部、営業支店、食品品質検査担当、食品品質管理担当(工場駐在)、品質管理担当(洋菓子工場駐在)は除く]
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO ₂ 排出枠(2007年度分) 300tを償却 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場) 実施
	11	山崎製パンと新たな業務資本提携を締結(山崎製パンの子会社となる)
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典
	2	埼玉工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	2	不二家洋菓子店で「生ミルクィー」発売
	3	野木工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成
	6	平塚工場操業50周年記念式典
	8	平塚工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	8	カントリーマアムブランドに新コンセプトの「カントリーマアムクリスピー」登場
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24~9/6)
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける
10	不二家洋菓子店で「ミルクィークリームロール」を発売	



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2010年	1	第3回「不二家食品安全の日」式典
	1	平塚工場が食品リサイクル率100%を達成
	2	富士裾野工場が「食品産業CO ₂ 削減大賞」(主催:(株)日本総合研究所 後援:農林水産省) 優良賞を受賞
	4	「本物の5S活動発表大会」開催
	4	埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理優良施設として確認票交付
		創業100周年記念事業
	8	「ハートフルコンサート2010」に協賛(東京フィルハーモニー交響楽団主催) 「ペコちゃんの歌」発表(作曲・編曲:久石譲、作詞:久石麻衣)
	8	「ペコちゃんスマイルコンテスト」最終審査&授賞式
	8	「ペコちゃんに“モードな服”をプレゼント」コンテスト (モード学園×新宿高島屋×不二家合同企画)
	9~10	「ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊」(児童施設77ヶ所訪問)
	11	「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」登場
11	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定:11/1~11/21)	
10	「第2回本物の5S活動発表大会」開催	
11	秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として神奈川県より表彰	
2011年	1	第4回「不二家食品安全の日」式典
	3	事業報告書「株主のみなさまへ」にFSC認証紙及び植物油インキを採用
	4~5	ペコちゃん、キャラバンカーで被災地訪問(福島県いわき市、岩手県、宮城県)
	7	夏場の節電対策実施
	8	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定8/19~9/4)
	8	ファミ文研「ペコちゃんキッズアカデミー」イベント開始
12	「銀座ペコちゃん・Winter shop」開催(期間限定12/10~12/25)	
2012年	1	第5回「不二家食品安全の日」式典
	1	東日本大震災時の食糧支援に対し、農林水産省より表彰
	3	第1回「不二家防災の日」式典
	4	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」開店(期間限定4/14~9/2)
	6	埼玉工場で火災発生
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/24~9/2)
11	「第3回本物の5S活動発表大会」開催	
2013年	1	第6回「不二家食品安全の日」式典
	1	「スマイル運動」開始
	3	8期ぶりに復配
	6	第2回「不二家防災の日」式典
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/23~9/1)
2014年	1	第7回「不二家食品安全の日」式典
	2	『「スマイル運動」推進のための5S活動報告会』開催
	4	株式会社スイートガーデンが不二家の完全子会社化
	6	第3回「不二家防災の日」式典
	7	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」期間限定開店(7/9 ~ 9/2)
	8	第4回「神奈川食の安全・安心基礎講座」を秦野工場で開催
2015年	1	第8回「不二家食品安全の日」式典
	4	東京お菓子ランド「PEKOPOKO SWEET LAND」期間限定開店(4/24 ~ 8/31)
	5	ミラノ万国博覧会のサテライト企画にペコちゃんが協力
	6	第4回「不二家防災の日」式典
	7	平塚市美術館にて「ペコちゃん展」開催(7/11 ~ 9/13)





株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6
ウェブサイト <http://www.fujiya-peko.co.jp/>

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 広報CSR部
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。



© FUJIYA CO., LTD.

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。